

兵庫県のに漁場環境情報 (神戸市、東浦海域 3号)

神戸東部沿岸域を中心に、小型珪藻スケルトネマの大量発生による赤潮（黒褐色の海水）が確認され、この海域の表層では特にリンが大きく減少しています。神戸沖及び淡路東浦海域においてもスケルトネマが確認されますが、今のところ大きく問題となる発生量ではなく、窒素は概ね4 $\mu\text{g at / L}$ 前後の値を示しました。

(水温) 神戸地先は平均8.3℃、神戸沖は平均9.0℃、東浦地先は平均9.6℃。強い寒気流入により平年より低い。

(塩分) 神戸地先：28.51～31.70psu。神戸沖：31.74～31.91psu。東浦地先：31.87～31.91psu。

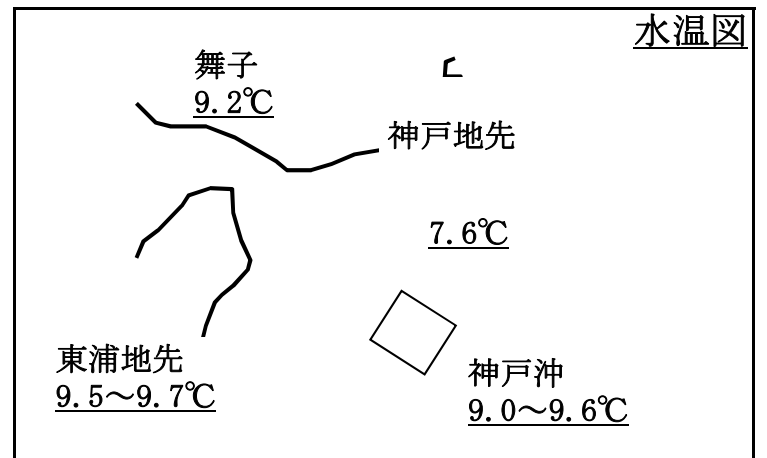
(栄養塩、珪藻) 水温及び塩分の低かった神戸地先の塩屋以東の海域において、スケルトネマの大量発生による強い赤潮が確認され、表層の栄養塩（窒素及びリン）が大きく減少している。神戸沖の窒素は3 $\mu\text{g at / L}$ 台となっており、リンは十分量の値を示しているがスケルトネマが海水1mlあたり300～500細胞とやや目立って確認される。淡路東浦海域ではスケルトネマは海水1mlあたり50～150細胞と今のところ少なく、栄養塩（窒素・リン）も概ね平年並の状況。

先週末（1/26）のノリ養殖環境速報調査においても、湾奥部から大阪府沿岸域にかけてスケルトネマの大量発生域が見られており、気象条件や潮流により他の漁場での増殖や拡散の可能性も考えられますので、動向には十分注意が必要です。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
神戸地先	水温	13.6	8.3	10.0	10.4
	窒素	7.3	4.0	8.8	13.7
	リン	0.63	0.17	0.45	0.43
神戸沖	水温	14.0	9.0	10.1	10.8
	窒素	6.5	3.7	4.2	7.7
	リン	0.61	0.35	0.35	0.30
東浦地先	水温	13.7	9.6	10.4	10.9
	窒素	6.0	4.1	4.3	4.0
	リン	0.59	0.41	0.42	0.31

(12/20)

(1/20)



栄養塩（窒素）図

平成30年1月29日調査

上げ潮（明石海峡：西流）

調査時間； 8:16～10:40

